

沼津市 芹沢光治良記念館
企画展 「光治良の欧州体験～『孤絶』『離愁』と『巴里に死す』～」(第2回)
を開催します

要 旨

本市に生まれ育った作家・芹沢光治良のフランス留学時期(大正14～昭和3年)を特集した企画展全2回のうち、後期となる第2回展示を開催します。

概 要

- 1 日 時 令和4年12月15日(木)～令和5年5月31日(水)9時～16時30分(入館は16時まで)
*展示替えに伴う臨時休館期間 令和4年12月1日(木)～12月14日(水)
- 2 場 所 沼津市芹沢光治良記念館 1階展示室 (沼津市我入道蔓陀ヶ原517-1)
- 3 休 館 日 毎週月曜日、休日の翌日(土日祝日除く)
- 4 入 館 料 大人(高校生以上) 100円 小人 50円(市内の小中学生は無料)
- 5 特 徴

●第2回展示の見どころ

- ・芹沢光治良が作家となる決意をしたフランス・スイスでの結核闘病生活から帰国までを、その時期を描いた『離愁』(初刊・昭和20年)の物語に沿って紹介します。
- ・また、後年に仏語訳された『巴里に死す』の紹介と、その海外での反響についても取り上げます。

主な展示資料

- ・留学時代に交流した社会学者・下出準吉へ宛てた光治良の直筆書簡・葉書 4点(初公開)
- ・画家・佐伯祐三、アナーキスト・椎名其二などとの交流を示した直筆絵葉書類 約20点
- ・このほか、留学当時の写真、集めた書籍や鑑賞した演劇・音楽プログラム原本などの資料を含めた総合計約100点を展示します。

*併せて別紙チラシもご覧ください。



昭和3年 パリにて家族と



『離愁』の初刊本

お問い合わせ先

沼津市教育委員会事務局文化振興課 沼津市芹沢光治良記念館
直通:055-932-0255



企画展

光治良の欧州体験

—『孤絶』『離愁』と『巴里に死す』—

◆芹沢光治良がフランスへ留学し、スイス等での結核療養を経て作家を志した転換期を、その時期を基に創作した作品『孤絶』『離愁』『巴里に死す』を通して紹介します。



『孤絶』

(令和3年 小学館・昭和18年 創元社)



『巴里に死す』

(令和元年 勉誠出版・昭和18年 中央公論社)

1951年再訪したパリのセーヌ川岸にて

令和4年

期間 第1回 6月15日(水) ~ 11月30日(水)

令和5年

第2回 12月15日(木) ~ 5月31日(水)

※展示替え臨時休館 6月1日(水)~14日(火)、12月1日(木)~14日(水)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間等が変更になる場合があります。

※第1回と第2回で、展示資料や紹介する作品が変わります。

[開館時間] 9:00~16:30(入館は16:00まで)

[休館日] 月曜日(休日の場合は翌平日)、休日の翌日、12月29日~1月3日

[観覧料] 高校生以上100円、小人50円、団体20人以上2割引 ※市内の小中学生は無料

〒410-0823 静岡県沼津市我入道蔓陀ヶ原517-1

電話・FAX: 055-932-0255

電子メール: kojiro@city.numazu.lg.jp

沼津市芹沢光治良記念館

